

宇波地区のイチオシ!

ゆずの里復活を支える 女性グループ

～うな民クラブ～



▲ゆずジャム (400円/個)。年3～4回宇波交流センターで作られています。

◀うな民クラブの皆さん。ゆずジャム作りに加えて、ブルーベリージャムやこんにやく作りにも挑戦しています。

平成初期の「ふるさと創世1億円事業」で家々に「ユズ」の苗木が配られ、「ゆずの里」構想が掲げられた宇波地区。それから約30年――。
「道路や庭にたくさんユズが転がっているのを通勤途中に見ていました」と当時を振り返るのは、宇波地区で集落支援員を務めていた加藤喬たかさん。「このユズを使って、地域の人でジャム作りをしたら良いのではないかと思ったんです」と続けます。
そこで平成28年、加藤さんの声かけで6人の女性が集まりました。元々ジャム作りのノウハウがあった加藤さんの指導でジャム作りがスタート。宇波地区の女性の手によって「ゆずの里うなみ」原点回帰プロジェクトが動き出しました。
平成29年には、「うな民クラブ」というグループ名をつけて活動。同クラブの永島志津子さんは「この活動があるとメンバーと楽しく話をする機会が作れます。ジャムは地域の人にも好評いただいております。活性化にもなっていると思います」と笑顔を見せます。
ユズの木々が立ち並ぶ宇波地区では、特産品を生かして、地域を元気にする女性たちの挑戦が続いています。

編集後記

▼裏表紙の相談をするため宇波交流センターへ。話を聞くと滝が多い地域だということが分かりました。塩滝は撮影に行ったことがありましたが、他にもあったとは。雨が多く降ったときにしか現れない幻の滝もあるようです。険しい道のりだそうですが、いつかチャレンジしてみたいと思います(旬)
▼「ある意味、本当のゴールが今日だったのかもしれない」。そう話すのは東京オリピックの聖火ランナーを務めた「まちがい梨」の板持浩二さん。サプライズで子どもたちは聖火リレーを疑似体験。トーチをつなぐ子どもたちの走る姿をみて、板持さんは本当のゴールを迎えていました。(一)

安来市の人口と世帯数 R3.5.31現在

人口合計 / 37,426人
(男:18,011人 女:19,415人)
世帯数 / 14,367世帯



●広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。
●自治会宛の発送等につきましては、地域振興課(☎23-3067)までご連絡ください。